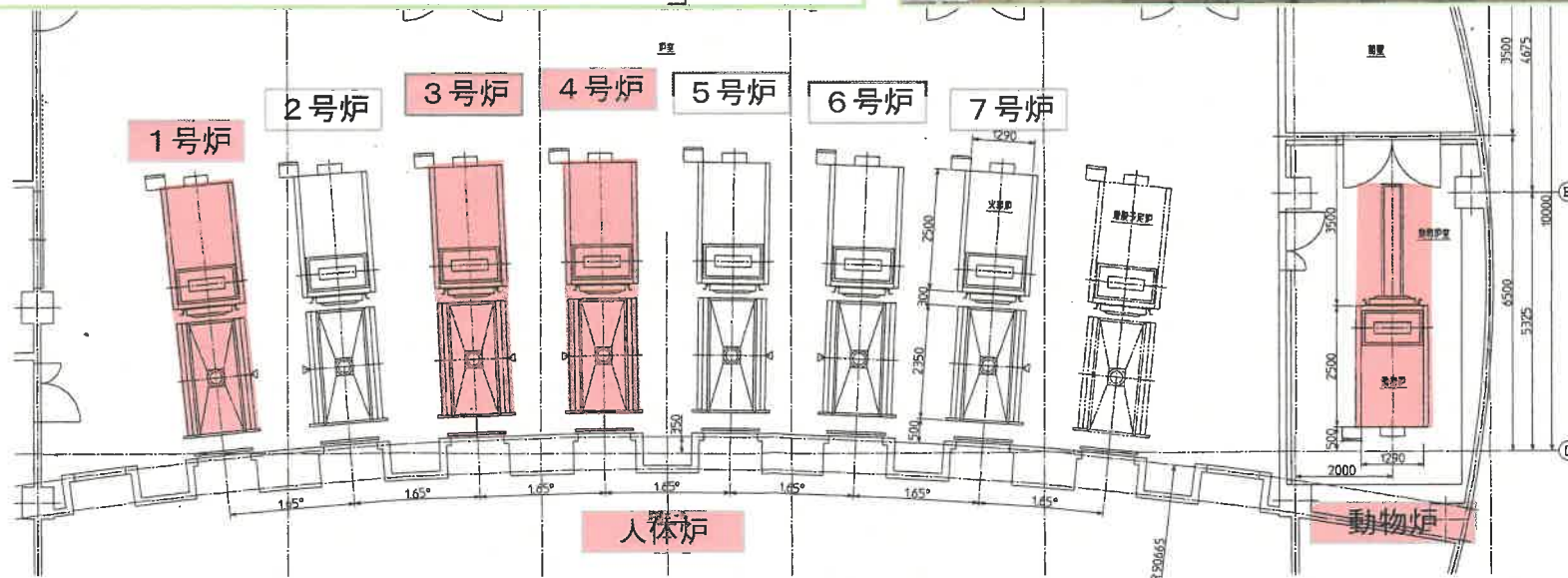
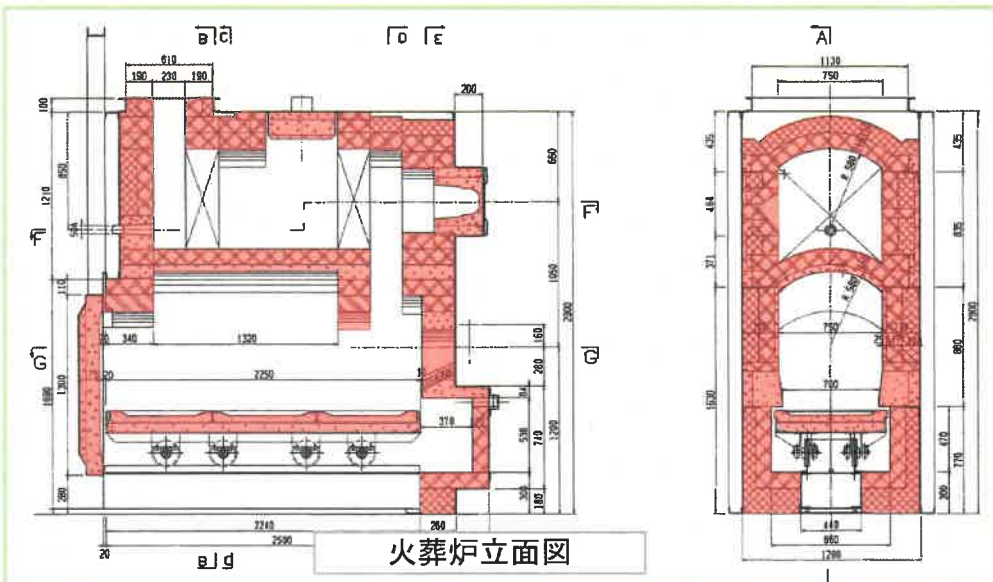


令和8年度当初予算案 事業別概要

1	項目名	因幡霊場火葬炉耐火物更新事業	
年度	令和8年度	担当課	
会計名	一般会計	環境衛生課	
款	衛生費	事業の概要 【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532 【事業の経過及び背景】 因幡霊場の火葬炉は8炉(うち1炉は動物炉)あり、耐熱煉瓦等耐火物は、経年劣化のため概ね9年周期で更新を行っている。1回目の更新は、平成19年度から21年度、2回目の更新は、平成28年度から30年度に実施した。近年は、火葬実績の増加に伴い使用頻度が高くなっており、劣化が進んでいるため、更新を行うものである。令和7年度に4炉を実施し、令和8年度に残る4炉を更新する。既設の火葬炉での更新は最大3回を限度としており、今回が最終の更新となる。 参考：火葬実績 令和2年度 2,778件(大人・小人) 1,233件(動物) 令和3年度 2,929件(大人・小人) 1,275件(動物) 令和4年度 3,187件(大人・小人) 1,292件(動物) 令和5年度 3,086件(大人・小人) 1,126件(動物) 令和6年度 3,200件(大人・小人) 1,069件(動物) 【事業の目的及び効果】 耐火物を更新することにより安定した火葬を行う。 【事業の内容】 火葬炉4炉(人体用3炉、動物用1炉)の耐火物更新 【事業の実績】 令和7年度 火葬炉4炉(人体用)の耐火物更新 [決算見込] 37,400千円	
項	火葬場費		
目	因幡霊場管理費		
(単位：千円)			
令和8年度当初予算額	39,996		
令和7年度当初予算額	40,986		
(単位：千円)			
区分	金額		
財源内訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	29,900	
	その他	0	
	市町普通負担金	10,096	
	計	39,996	
その他財源の内訳			



因幡靈場火葬炉耐火物更新事業

2	項 目 名	因幡霊場内部改修事業
---	-------	------------

年 度	令和8年度
-----	-------

担当課

会計名	一般会計
款	衛生費
項	火葬場費
目	因幡霊場管理費

環境衛生課

事業の概要

【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532

【事業の経過及び背景】

因幡霊場は平成10年度に供用開始し25年以上が経過しており、施設が老朽化しているため設備の更新を行うものである。また、併せて待合室及びトイレの洋式化を行う。

【事業の目的及び効果】

老朽化している設備を更新し、待合室やトイレを全て洋式化することにより、利用者が快適に過ごせるよう、利便性を図る。

【事業の内容】

- 1 施工年度 令和7～8年度（債務負担行為）
- 2 事業内訳
 - ・建物改修 和室(4室)→洋室、和式トイレ→洋式トイレ、従業員室(女性)・授乳室新設など
 - ・設備更新 冷暖房設備、受水槽など
- 3 事業費 因幡霊場内部改修工事（2年目） 310,568千円

【事業の実績】

- 令和7年度
- ・因幡霊場内部改修工事（1年目） [決算見込] 144,408千円
12,760千円（令和8年度に繰越）
 - ・物品購入
（机(8台/室×4室)、椅子(32脚/室×4室)) [決算見込] 10,948千円

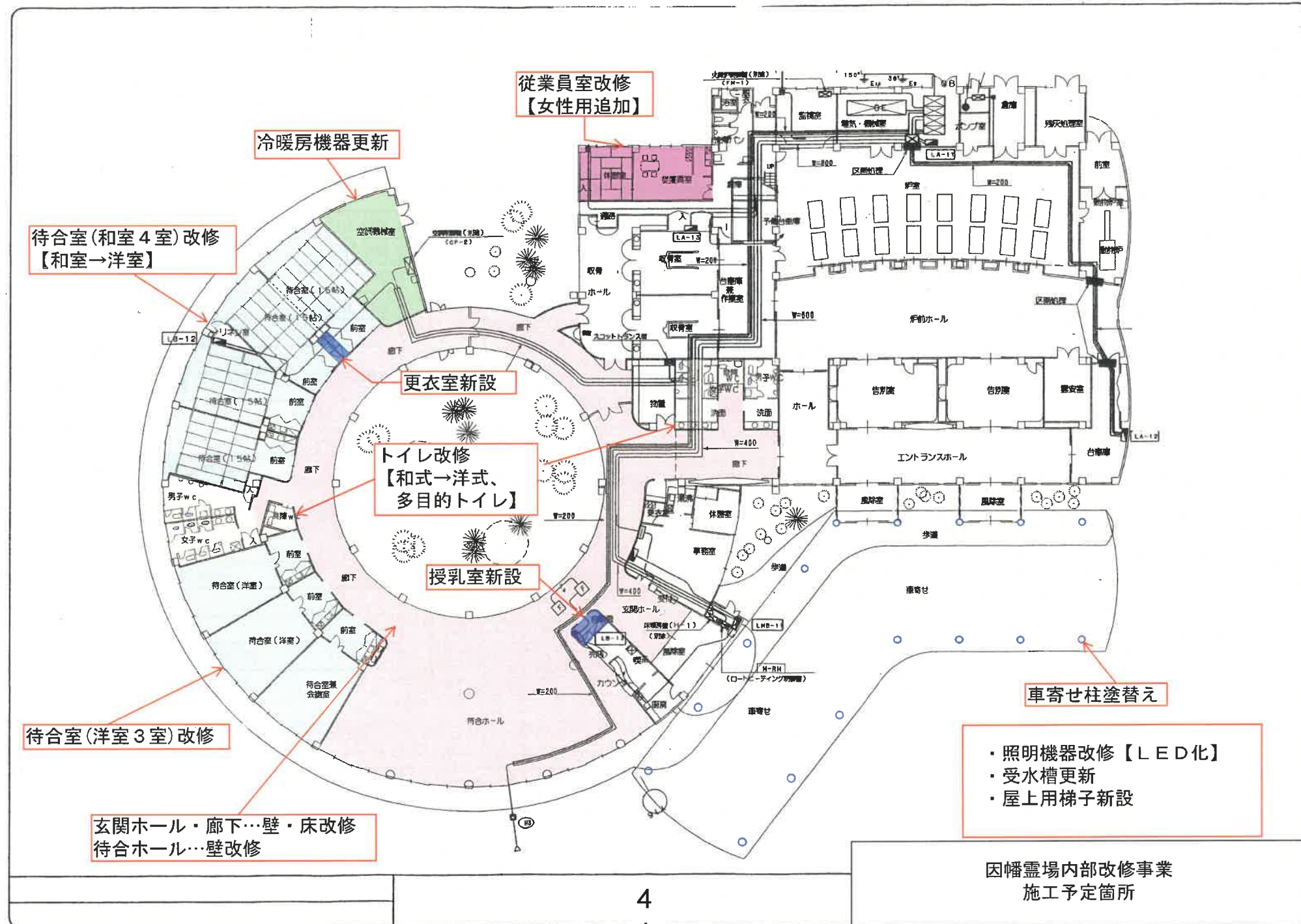
(単位：千円)

令和8年度当初予算額	310,568
令和7年度当初予算額	219,338

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	279,400
その他	0
市町普通負担金	31,168
計	310,568

その他財源の内訳	



3		項 目 名		可燃物処理施設南法面整備事業	
年 度		令和8年度		担当課	
				環境衛生課	
会計名					
一般会計					
款	衛生費				
項	可燃物処理費				
目	ごみ処理施設管理費				
		(単位：千円)			
令和8年度当初予算額		17,714			
令和7年度当初予算額		8,862			
		(単位：千円)			
区 分		金 額			
財源内訳	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	市町普通負担金	17,714			
計		17,714			
その他財源の内訳					

事業の概要	
【問合せ先】施設管理係 0857-26-0596	
【事業の経過及び背景】 令和2年4月に地すべりが発生した可燃物処理施設南法面は、令和3年度の仮補修（法面下部への押え盛土）により小康状態となった。地すべり対策として、令和4年度に地すべり調査（ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定）、令和5年度に横ボーリング工の実施設計を行い、令和6年度から令和7年度にかけて横ボーリング工を施工した。	
【事業の目的及び効果】 風雨等により劣化が進行した仮補修の押え盛土の恒久的な補修による施設の安全確保	
【事業の内容】 南法面整備工事（法尻へのかごマット敷設） 8,580千円 地すべり調査（動態観測調査・横ボーリング工排水量測定） 9,134千円	
【事業の実績】 令和3年度 仮補修（法面下部への押さえ盛土） 7,975千円 地すべり調査（現地測量、ボーリング調査計画作成） 2,496千円 令和4年度 地すべり調査（ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定） 19,998千円 令和5年度 地すべり調査（地すべり解析、対策工設計） 13,343千円 令和6年度 地すべり調査（動態観測調査） 7,205千円 南法面整備工事（横ボーリング工） 11,640千円 令和7年度 地すべり調査（動態観測調査・横ボーリング工排水量測定） [決算見込] 8,855千円 （繰越明許費）南法面整備工事（横ボーリング工） [決算見込] 20,304千円 （繰越明許費）鳥取市下水道部負担金（監督員） [決算見込] 1,139千円	

事業の概要

【問合せ先】施設管理係 0857-26-0596

【事業の経過及び背景】

令和2年4月に地すべりが発生した可燃物処理施設南法面は、令和3年度の仮補修（法面下部への押え盛土）により小康状態となった。地すべり対策として、令和4年度に地すべり調査（ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定）、令和5年度に横ボーリング工の実施設計を行い、令和6年度から令和7年度にかけて横ボーリング工を施工した。

【事業の目的及び効果】

風雨等により劣化が進行した仮補修の押え盛土の恒久的な補修による施設の安全確保

【事業の内容】

南法面整備工事（法尻へのかごマット敷設）	8,580千円
地すべり調査（動態観測調査・横ボーリング工排水量測定）	9,134千円

【事業の実績】

令和3年度	仮補修（法面下部への押さえ盛土）	7,975千円
	地すべり調査（現地測量、ボーリング調査計画作成）	2,496千円
令和4年度	地すべり調査（ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定）	19,998千円
令和5年度	地すべり調査（地すべり解析、対策工設計）	13,343千円
令和6年度	地すべり調査（動態観測調査）	7,205千円
	南法面整備工事（横ボーリング工）	11,640千円
令和7年度	地すべり調査（動態観測調査・横ボーリング工排水量測定）	〔決算見込〕 8,855千円
	（繰越明許費）南法面整備工事（横ボーリング工）	〔決算見込〕 20,304千円
	（繰越明許費）鳥取市下水道部負担金（監督員）	〔決算見込〕 1,139千円

4	項 目 名	消防庁舎新築・改修事業
---	-------	-------------

年 度	令和8年度
-----	-------

担当課

消防総務課

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和8年度当初予算額	662,564
令和7年度当初予算額	596,552

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	606,600
その他	55,964
市町普通負担金	0
計	662,564

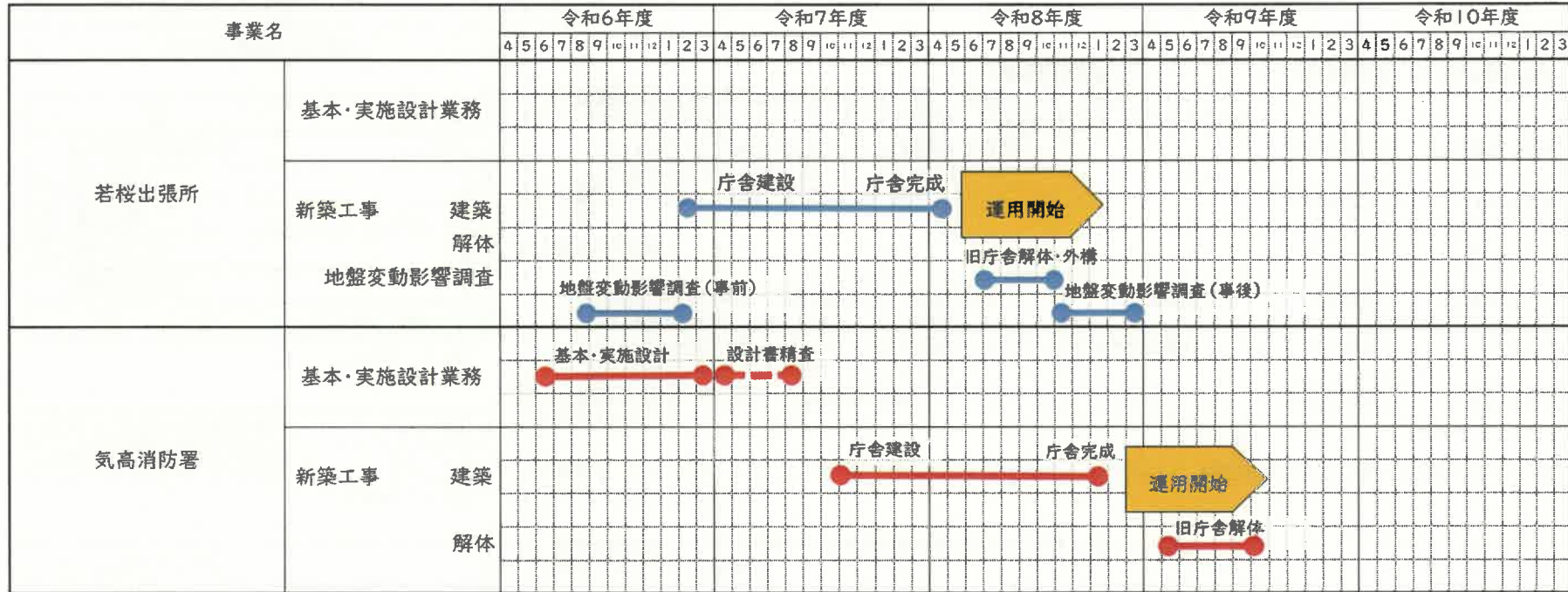
その他財源の内訳	
市町特別負担金	55,964

事業の概要
【問合せ先】管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 昭和56年以前の旧耐震基準で建築されている消防庁舎は、耐震性を表すIs値が基準以下であり、耐用年数に到達し老朽化が進行していること等の問題が生じていることから、新築事業を進めており、令和6年度時点で事業対象9施設のうち、5施設の事業を完了している。 また、事業対象にない庁舎についても、建物・設備の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を実施している。 【事業の目的及び効果】 消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき消防庁舎の新築整備を行い、既施設については維持管理をより効率的・効果的に進めるため、必要な改修を行い、庁舎設備の予防保全に努めることで、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。 【事業の内容】 - 八頭消防署若桜出張所新築事業 - 旧庁舎解体外構工事 [当初] 52,217千円 - 地盤変動影響調査（事後） [当初] 20,573千円 - 気高消防署新築事業 - 新築工事・工事監理【債務負担行為(R7～R8)】（2年目） [当初] 462,170千円 - 外構工事 [当初] 65,000千円 - 旧庁舎解体設計 [当初] 4,140千円 - 完了検査 [当初] 87千円 - 鳥取消防署非常用発電設備他改修事業 - 改修工事【債務負担行為(R7～R8)】（2年目） [当初] 58,377千円 【事業の実績】 令和7年度 - 八頭消防署若桜出張所新築事業 新築工事・工事監理 [決算見込] 288,299千円 - 気高消防署新築事業 新築工事・工事監理・外構設計 [決算見込] 263,350千円 - 鳥取消防署自家発電設備他改修事業 改修工事 [決算見込] 36,520千円

庁舎建設工程表(予定)

参考

R7.12現在



5	項 目 名	消防車両更新事業
---	-------	----------

年 度	令和8年度
-----	-------

担当課
消防総務課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

事業の概要
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 長期間使用により老朽化した車両資機材を年次計画に基づき更新する。 【事業の目的及び効果】 多様化する災害に対応するため、車両資機材の更新整備を行い、継続的に管内地域の安全・安心を図る。 【事業の内容】 ・ 救助工作車（1台）【鳥取消防署】 [当初] 96,672千円 【債務負担行為（R7～R8）】（2年目） ・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）【気高消防署】 [当初] 0千円 【債務負担行為（R8～R9）】（1年目） ・ 高規格救急自動車・高度救命用処置資機材（1台）【用瀬出張所】 [当初] 43,627千円 【事業の実績】 令和7年度 ・ 救助工作車（1台）【鳥取消防署】 [決算見込] 82,419千円 【債務負担行為（R7～R8）】（1年目） ・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2台） [決算見込] 139,040千円 【債務負担行為（R6～R7）】（2年目）【岩美消防署・八頭消防署】 ・ 災害対応特殊高規格救急自動車・高度救命用処置資機材（1台） [決算見込] 36,520千円 【青谷出張所】

(単位：千円)	
令和8年度当初予算額	140,299
令和7年度当初予算額	279,940

		(単位：千円)
区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	129,300
	その他	0
	市町普通負担金	10,999
計		140,299

その他財源の内訳

救助工作車（鳥取消防署配備予定）

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】平成23年度配備車両（鳥取消防署配備）



【参考車両】平成27年度配備車両（八頭消防署配備）

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(A-I) (気高消防署配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和6年度配備車両(湖山消防署配備)

高規格救急自動車(八頭消防署用瀬出張所配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和6年度配備車両(若桜出張所配備)

6	項 目 名	消防救急デジタル無線設備更新事業
---	-------	------------------

年 度	令和8年度
-----	-------

担当課

情報指令課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和8年度当初予算額	27,962
令和7年度当初予算額	0

(単位：千円)

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	27,900
	その他	62
	市町普通負担金	0
計		27,962

その他財源の内訳	
市町特別負担金	62

事業の概要

【問合せ先】システム管理係 0857-29-6895

【事業の経過及び背景】

現在運用している消防救急デジタル無線設備は、平成25年度の運用開始から令和8年度で13年が経過する。デジタル無線設備の耐用年数は補修部品の供給可能期間に制約されており、最長で15年程度が保守の限界といえる。当事業完了予定としている令和10年度末には15年が経過することから、老朽化による故障リスク回避と災害時における確実な通信網の確保を図るため計画的に更新事業を実施する。

【事業の目的及び効果】

災害時に確実に機能する通信網を維持し、情報伝達・広域連携・保守体制を強化することで、鳥取県東部圏域内の安全・安心の確保を図る。

【事業の内容】

令和8年度	更新設計	[当初]	27,962千円
令和9年度	消防救急デジタル無線設備整備（1年目）〈債務負担行為〉		
令和10年度	消防救急デジタル無線設備整備（2年目）〈債務負担行為〉	[概算]	1,900,000千円

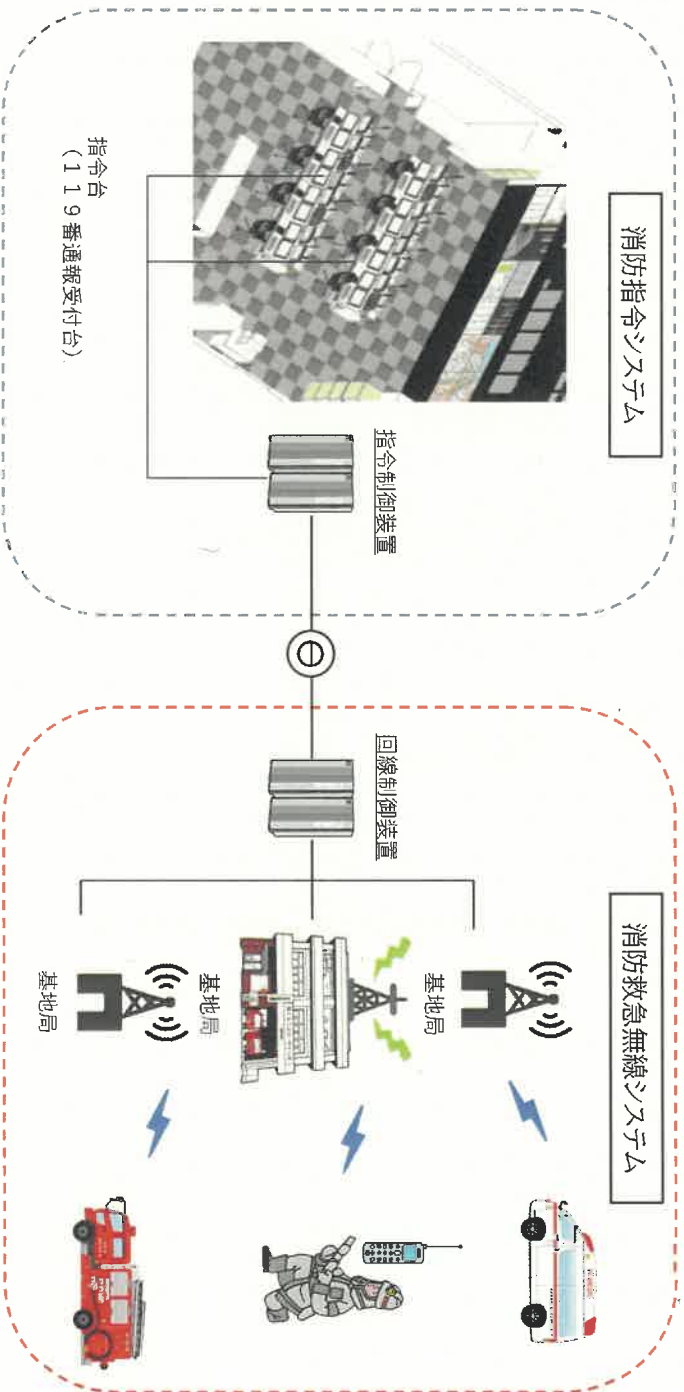
【事業の実績】

令和8年度から消防救急デジタル無線設備更新に向けた更新設計を実施

消防救急デジタル無線設備の更新について

【通信指令設備維持管理の長期計画】					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
指令設備	設計業務	全体更新	全体更新									中間更新
無線設備												
概算事業費	総事業費1,304,644千円							設計業務 27,962千円	更新事業 1,900,000千円	更新事業		300,000～ 400,000 千円

【鳥取県内消防局の状況】				
	東部消防局	中部消防局	西部消防局	
指令設備	R7年度 更新完了	R7年度 更新完了	R7年度 更新完了	
無線設備	R10年度 更新完了予定	R7年度 更新完了	R7年度 更新完了	



通信員は、指令システムから119番通報を受信し、消防車や救急車を出動させている。
また、無線システムで災害の概要や傷病者の状態等、様々な情報を伝えており、通信員が無線で伝える情報は指令制御装置から回線制御装置を経由して、対象となる車両や隊員と交信される。

